

日本統合医療学会 IMJ 気功分科会
日本医療気功学会 学術大会 2009

主催 日本医療気功学会
日本統合医療学会

「医療気功」

健康という
人生のかけがえのない幸せをあなたに

平成21年12月16日(水)9:30～16:30(開場9:00)

船堀タワー 小ホール



<http://www.qigong-culture.jp/>

～ 最高の名医は自分自身であり、最高の妙薬は自らの体内にある ～

協力 NPO法人 気功文化センター

日本健身気功国際聯合

全日本養生気功連盟

開会挨拶

帯津良一 日本医療気功学会会長

講演1 「医療気功と統合医療」

渥美和彦

日本統合医療学会理事長 日本医療気功学会顧問



1928 年大阪生まれ。医学博士。東京大学名誉教授。東大木本外科で心臓外科を専攻。超音波、ペースメーカー等の医用工学を学び人工臓器の研究を始める。その後レーザ医学、サーモグラフィ、医療情報システム、生体磁気等の先端医学分野に挑戦し、人工臓器の山羊の長期生存世界記録を作る。1998 年日本代替・相補・伝統医療連合会議、2000 年日本統合医療学会を設立、理事長に就任。“国民のための医療”を目ざし、統合医療の道を歩んでいる。

講演2 「気功人になろう！」

帯津良一

日本医療気功学会 会長



1936 年栃木生まれ。医学博士。日本ホリスティック医学協会会長。日本ホメオパシー医学会理事。東京大学医学部第三外科、都立駒込病院勤務を経て、埼玉県川越市に帯津三敬病院を設立。ホリスティックなアプローチによるがん治療を実践。代替療法への造詣が深く、治療に積極的に取り入れ患者さんに感謝されている。講演や大学での講義、著書多数。『一病あっても、ぼちぼち元気』(PHP 研究所)

講演3 「科学的医療と非科学的医療の統合」

阿岸鉄三

日本医療気功学会 副会長



1934 年生まれ。医学博士。日本統合医療学会理事。北海道大学や米国の大学で研究員を経て、東京女子医科大腎センター外科教授。同センター所長など長期に亘り人工腎臓・人工肝臓等を中心とする血液浄化治療の研究開発・臨床応用を免疫疾患・脂質異常症の治療を可能なものとし、現在も透析医療に従事。一方、十数年前外気功にふれ自らも外気功師となる。現代科学的医学では理解できない人体の反応・医療システムの存在を認識、統合医療とは科学的と非科学的医療の統合を意味すると考えている。

講演4 「医療気功の理念、技術と実践」

廖 赤陽

リョウ・セキヨウ 日本医療気功学会 評議員



1960 年中国福建省生まれ、東京大学大学院アジア文化研究専攻博士課程修了博士(文学) 現在 武蔵野美術大学 教養文化 教授 (歴史学)

著書:『気功で読み解く老子』春秋社、2009 年

『実践気功健康法』春秋社、2004 年(共著)

『気功—その思想と実践』春秋社、1998 年(共著)

『中国気功健康法』(東京)成美堂出版、1993 年(共著)

講演5 「歯科と気の応用」

福岡博史

日本医療気功学会 理事



昭和 58 年:東京歯科大学卒業 平成 04 年:聖マリアンナ医科大学より医学博士学位受領
平成 13 年:医療法人社団明徳会福岡歯科理事長

日本統合医療学会理事(認定医)・日本ホメオパシー医学会歯科部会代表(認定医)

日本バイディジタル O-リングテスト協会会員(認定医)・鈴鹿医療科学大学非常勤講師

NPO 法人統合医療塾理事脈診・鍼(鍼灸)・気功・陰陽バランスの調整による腰痛・難病・各種痛み等の治療を行う。

講演6 「気療で健康増進」

神沢瑞至

日本医療気功学会 評議員



1944 年1月 群馬県生まれ。明治大学法学部卒業後、公務員となる

1988 年1月 “気の力”に目覚め、人の病気・ケガに対し、癒し効果の存在を発見

1992 年 4 月 本格的な活動のため公務員を退職。東京で“気の力”の研究と実践に専念

1996 年 8 月 東京南青山に気療塾学院を開校

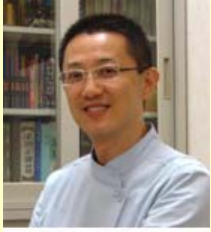
2006 年 7 月「どうぶつ奇想天外！」(TBS)に再度出演 [癒しの証明]

2007 年 2 月 遠隔気療ネットワーク開始

著書:『気療』『遠隔気療』『気療で健康増進』(たま出版)『気療空間』(仮称)を執筆中

講演7 「気功と脈診」

傅 嵩青 日本医療気功学会 評議員



Blog「中医学の知恵」へ→

中国の南京市出身。南京医科大学卒業後、南京市立病院で心臓外科医として6年間勤務の後、南京中医药大学、北京中医研究院および上海中医药大学で中医学を研修。1990年に来日、関西鍼灸短期大学で日本鍼灸を学び、1994年に大阪市住吉区内で気功鍼灸治療院を開業。

脈診・鍼(鍼灸)・気功・陰陽バランスの調整による腰痛・難病・各種痛み等の治療を行う。
日本統合医療学会 認定医講座 講師

講演8 「東洋画における気のエネルギー」

藤島博文 日本医療気功学会 評議員



昭和16年(1941) 徳島県美馬郡美馬町に生まれる
昭和58年(1983) 日展 特選受賞「ドーベルマンと少女」日春展 日春賞受賞「新雪」
平成14年(2002) 二度目の日展審査員となる
平成17年(2005) 唐詩選より「黄鶴図」2m×2m が内閣総理大臣官邸正面玄関に陳列される
(小泉総理大臣より感謝状を受ける)
平成20年(2008) 日本橋高島屋にて個展開催「気韻生動」
平成21年(2009) 1月 大阪医科大にて「医療と東洋美」について講演
平成21年(2009) 3月 天皇陛下御即位二十年奉祝委員会の「代表委員」を委嘱される10月奉祝画「平成鳳凰天来之図」を謹筆。10月13日宮中にて天皇・皇后両陛下よりお言葉を賜る。

講演9 「気功養生学真諦」

梁 蔭全 日本医療気功学会 評議員



1963年中団広東省生まれ。7才より道教羅浮派の掌門主だった祖父について気功を学び始めまる。15才より今日まで、最も優れた気功法の数々を自ら選び、気功の神髄と奥義を追求。長期に渡り深山にて修業する傍ら、政府 要人の治療等をし、1988年に来日、気功の普及にも努める。特にガンの治療や遠隔調整に優秀な成果をあげている。
1989年3月 全日本気功協会気功主任講師就任(会長:一橋大学名誉教授 南博先生)
1989年5月 外務省、中国大使館共催パーティーで気功実演
著書:1992年～2000年間『難病・慢性病を癒す特効「念力気功」』『特効「体力気功」でガン・慢性病に克つ』『ガンも治した気功療法』『気功の科学』『病気が治る般若気功 瞑想を加えると凄い効果が出る!』『仙道気功で運気が好転する 幸せをもたらす奇跡の気功術』等12冊本を出版

講演10 「医療気功の現場」

川嶋 朗 日本医療気功学会 理事



1957年、東京都生まれ(さそり座) 日本統合医療学会 理事
東京女子医科大学附属青山女性・自然医療研究所 自然医療部門 助教授
(東京女子医科大学附属青山自然医療研究所クリニック 所長)自然医療研究所クリニックをスタートさせる運びとなりました。日本の大学として、初めて統合医療の診療を行う施設です。CAMの検証や統合医療の指導者を育てるためのCAMの教育プログラム作成など研究や教育にも力を注ぎ、真の意味での患者様本位の医療を遂行する所存です。
日本内科学会 認定医・専門医・指導医・日本内科学会認定専門医会 評議員・日本腎臓学会 学術評議員 認定専門医・指導医・日本透析医学会 評議員 認定医・指導医 心身医学臨床研究会 会長・日本ホメオパシー医学会 理事・日本東方医学会 理事・学術委員・日本代替・相補・伝統医療連合会議(JACT) 実行委員 認定医・日本東洋医学会 東京都部会 幹事

講演11 「科学する気功」

町好雄 日本医療気功学会 副会長



1940年三重県生まれ。工学博士。東京電機大学大学名誉教授。日本統合医療学会理事・NPO法人気功文化センター会長
日本における気の科学的研究の開拓者。
気の関係出版:
「気」を科学する。町 好雄(単行本 - 1993/5)
科学がとらえた超能力の正体—あなたにも(ベストセラーシリーズ—ワニの 本)町 好雄、(単行本(ソフトカバー) - 1995/5)
「気」は脳の科学(「気」を科学する)町 好雄(単行本 - 1996/7)
「気」への招待—健康と成功への実践的プログラム 町 好雄、上月 節子、豊田 一成(単行本(ソフトカバー) - 1998/2)

講演12 「医療気功の教育」

秋山千恵里(劉超) 日本医療気功学会 理事



北京の大学在学当時から著名な気功家「馬礼堂」師から養生気功を学ぶ。1988 年に来日以来北京中医薬大学日本分校、横浜日中交流協会などの教室で養生気功の普及を行う。東京電機大学人体科学研究室にて気の研究の先駆者の町好雄教授に師事し気の科学的研究を行う。気の研究と各気功(医療気功・武術気功・健身気功・修行等)普及のために世界中を駆け巡っている。現在日本統合医療学会評議員(気功)気功分科会幹事。気功に関する論文 60 編。日本医療気功学会発起人之一。日本健身気功国際連盟代表・NPO 法人気功文化センター理事長 プロの気功師を養成学校と気功文化関係事業を行っています。

講演13 「気功の科学研究」

木戸真美 日本医療気功学会 理事



1952 年 盛岡に生まれる
1970 年 東京大学理Ⅱ類
1974 年 東京大学理学部化学
科卒業
1980 年 東京大学大学院理学研
究科博士課程修了(理学博士)
1987 年 東北学院大学教養学部
助教授

現在、東北学院大学教養学部教授
＜今までの総合研究のテーマ例＞

- ・視聴覚刺激による自律神経の引き込み現象
- ・母音の構造と人間の意識状態との関連
- ・香りによる生理的・心理的效果
- ・音声解析による真偽判定ソフトの検証
- ・イメージ想起の測定
- ・近赤外光で測る音楽効果
- ・気功や座禅の生体計測

表演1 「二指禅実演」 崔 舜翔 (サイヨシト)



二宮医堂 代表
医学気功師
Kyuido International Diet Academy
理事長兼学院長
世界医学気功学会会員

表演2 「洪家内功と拳術」 劉 湘穂 (リュウソホ) 代表



中国伝統武功協会最高師範・
中医気功整体院院長

1959 年中国広東省広州市出身。幼少より祖父の劉徳介から洪家拳、先天功など家伝の武術を学ぶ。後に多くの老拳師に師事し、多数の優勝経験を持つ。現在は中国伝統武功協会会長(1990 年設立)として、中国伝統武術の普及活動を行なう。2004 年より自身の武術(劉氏功夫)、普及・発展の為、専門機関「洪家拳研究会」を発足させ、後進の育成に努める。

中国伝統武功協会 参加メンバー

鄧兵、志知、酒井、川上、池上、刑部、小野寺、白見夫婦

表演3 「養生気功 六字訣」 坪井都子代表



NPO 気功文化
センター
理事 養生気
功六字訣模範
講師
自分の手で家
族の命を助
け、奇跡を起
した。

1993 年から養生気功六字訣等劉超先生から
学び、現在講師として、養生気功を用いて地
域の老人健康活動に活躍しています。

表演参加者：

北川・高橋・井口・村川・石沢・加藤

表演4 「健身気功・八段錦」 竹花智子代表



2009 第3回健身気功国際大会(上海)一等賞 日
本チーム 八段錦代表、NPO 気功文化センター理事
健身気功段位認定 4 段、健身気功国際裁判員、健身
気功指導コチ、日本健身気功国際連盟発起人之一。
表演メンバー：岩田悦子、甲斐由樹、櫻木五美

表 演 5 「 導 引 養 生 功 形 体 詩 韻 」 岩 田 悦 子 代 表



20 年気功指導歴、プロの気功指導員として、活躍。沢山の方に気功の良さを伝えたい考え
 おります。
 表
 演
 参
 加
 者
 ：
 高
 橋
 和
 子
 ・
 武
 内
 泰
 子
 ・
 三
 浦
 ユ
 ウ
 子
 ・
 八
 鍬
 と
 き
 ・
 上
 野
 美
 津
 子

表 演 6 「 メ デ ィ カ ル 気 功 太 極 拳 」 外 山 美 恵 子 代 表



・NPO 法人「心とからだの研究会」 理事長
 ・「じゅう工房」 主宰
 鍼灸師、柔道整復師、指圧・あん摩・マッサージ師、鍼灸教員資格取得。

5 分
 で
 可
 能
 ！
 一
 日
 一
 日
 あ
 れ
 ば
 可
 能
 ！
 100 歳
 ま
 で
 可
 能
 ！
 若
 者
 か
 ら
 超
 高
 齢
 者
 ま
 で
 、
 い
 つ
 で
 も
 、
 ど
 こ
 で
 も
 、
 誰
 に
 で
 も
 可
 能
 の
 ウ
 ェ
 ル
 エ
 イ
 ジ
 ン
 グ
 の
 た
 め
 の
 オ
 リ
 ジ
 ナ
 ル
 気
 功
 太
 極
 拳
 で
 す
 。
 健
 や
 か
 に
 生
 き
 る
 こ
 と
 へ
 の
 祈
 り
 の
 心
 で
 舞
 い
 ま
 す
 。

ポ ス タ ー ① サ ェ ン 宇 宙 外 氣 功



発
 表
 者
 ：
 山
 田
 千
 鶴
 子
 所
 属
 ：
 NPO サ
 ェ
 ン
 医
 学
 気
 功
 研
 究
 学
 院

ポ ス タ ー ② 基 礎 代 謝 量 変 動 が 少 な い 健 康 的 肥 満 治 療 法 — 崔 式 経 絡 拍 打 気 功 瘦 身 法



発
 表
 者
 ：
 1. 崔
 舜
 翔^{1,2}、2. 亀
 井
 勉³、3. 小
 林
 洋
 子^{1,2}、4. 崔
 星^{1,2}
 所
 属
 ：
 1. 宮
 医
 堂
 、2. 日
 本
 中
 医
 気
 功
 瘦
 身
 協
 会
 、3. European University Viadrina

ポ ス タ ー ③ 喘 息 を 改 善 す る た め の 「 養 氣 功 」



発
 表
 者
 ：
 談
 衛
 東
 所
 属
 ：
 在
 日
 中
 国
 気
 功
 太
 極
 拳
 協
 会
 会
 長

ポ ス タ ー ④ 北 海 道 医 療 気 功 10 年 間 の 実 践 歩 み



発
 表
 者
 ：
 陶
 恵
 栄
 所
 属
 ：
 陶
 氏
 診
 療
 院
 院
 長

メ
 モ

ポ ス タ ー ⑤ 宇 宙 か ら 見 た 精 神 と 物 質 水 素 原 子 の 吸 収 ス ペ ク ト ル と 脳 磁 場 380nm 紫 外 線 で の 癌 治 療



発
 表
 者
 ：
 金
 龍
 鐘
 所
 属
 ：
 プ
 ラ
 ン
 ク
 エ
 ネ
 ル
 ギ
 ー
 精
 神
 科
 学
 研
 究
 所

2010 年 6 月 26 日 (土)

気功文化祭 2010 in Tokyo

伝統気功・健身気功・医療気功

展示表演大会 船堀大ホール

HP : <http://www.qigong-culture.jp/>

日本健身気功国際連盟

IHQFJ

International Health Qigong Federation of Japan

HP : <http://www.qigong-culture.jp/>

- (1) 日本各地健身気功普及及び健身気功の国際試合の活動
- (2) 健身気功の国際技術標準と技術規範の設立
- (3) 健身気功の選手、コチと審判員を育成訓練し管理する。国際健身気功段位制度の強化。
- (4) 健身気功の科学研究業務を組織し展開する

日本統合医療学会 IMJ 氣功分科会

日本医療氣功学会 “學術大会 2009”

プログラム

12月16日(水)9:30~16:30(開場9:00)

船堀タワー 小ホール

09:00	開場	
09:30	開会挨拶： 帶津会長	(5分)
09:35	座長： 阿岸鉄三先生	
	1. 講演： 渥美和彦 医療氣功と統合医療	(15分)
	2. 講演： 帶津良一 氣功人になろう！	(25分)
	3. 講演： 阿岸鉄三 科学的医療と非科学的医療の統合	(25分)
	4. 講演： 廖 赤陽 医療氣功の理念、技術と実践	(15分)
	質疑応答	(10分)
11:05	午前休憩 10 分	
11:15	表演 1 崔 舜翔 二指禪実演	(5分)
	表演 2 劉 湘穗代表 武術氣功 洪家内功と拳術	(5分)
11:30	座長： 福岡博史先生	
	5. 講演： 福岡博史 歯科と気の応用	(10分)
	6. 講演： 神沢瑞至 氣療で健康増進	(20分)
	7. 講演： 傅 嵩青 氣功と脈診	(25分)
	質疑応答	(8分)
12:34	表演 3 坪井都子代表 養生氣功 六字訣	(6分)
12:40	昼休憩 45 分	
13:25	表演 4 2009 第3回健身氣功 健身氣功八段錦 国際大会一等賞 竹花智子代表	(13分)
13:40	座長： 川嶋 朗 先生	
	8. 講演： 藤島博文 東洋画における気のエネルギー	(25分)
	9. 講演： 梁 蔭全 氣功養生学真諦	(15分)
	10. 講演： 川嶋 朗 医療氣功の現場	(10分)
	質疑応答	(8分)
14:38	午後休憩 10 分	
14:48	表演 5 岩田悦子代表 導引養生功 形体詩韻	(5分)
	表演 6 外山美恵子代表 オリジナル 「メディカル氣功太極拳」	(5分)
15:00	座長： 木戸真美 先生	
	11. 講演： 町 好雄 氣功を科学する	(25分)
	12. 講演： 秋山千恵里 医療氣功の教育	(10分)
	13. 講演： 木戸真美 氣功の科学研究	(10分)
	質疑応答	(8分)
	14. ポスターの発表者 ① 田千鶴子 ②崔 舜翔 ③談 衛東 9:30~15:40 ④陶 恵栄 ⑤金 龍鐘	
15:55	15. 医療氣功師宣言 全員の氣場交流 (帶津会長)	(15分)
16:10	閉会	

日本医療気功学会 (JAMQA)

(Japan Medical Qigong Association)

顧問 渥美和彦・福岡明

会長 帯津良一 副会長 阿岸鉄三・町好雄

理事 福岡博史・川嶋朗・木戸真美・秋山千恵里

設立趣意(抜粋)： 現代は社会のさまざまな面で人間性の危機が叫ばれていますが、その主な原因は、科学技術の急速な発展に比べて、人間精神の進歩が伴わず、精神の領域についての研究が遅れているところにあります。機械的な人間観に対する反省から、近年、深層心理学や医学の分野では心身の密接な関係に注目するホリスティックな見方が世界的に起きています。それと共に、古くからの東洋医学や、東洋諸宗教の伝統の中に伝えられてきた気功修行法、心身鍛錬法の意味と価値が、あらためて評価されるようになってきました。諸外国における医療気功およびその関連領域の科学の進歩はめざましいものがあり、我が国においても医療気功の価値が最近認識されてきていますが、増加する諸外国や国との窓口を必要とする問題に対応しうる医療気功の学会はいまだ確たるものではないのが現状です。今後医療気功が社会の要求に的確に対応していくためには、医療界の関係者が相互に力を合わせて医療気功の研究を進めなければなりません。

このような時代の要請をふまえ、日本医療気功学会を設立し、医療気功を発展させ、関係する気功の知識や技能などを窓口として活動することが当学会の義務でもあり責任でもあると感ずるものであります。気功は今や、医療の一分野として大きな位置をしめ、施術効果の科学的解明とエビデンスが求められています。これからは、予防医学や健康の分野からも、気功の医療への役割が重要視される時代になると予測され、学会の存在意義は重く、社会貢献になる有意義な事業への期待は高まる一方であります。本学会は、国際的英知を結集し、その未知な現象を科学的実証に基づき明確化させ、その特性と原理の解明をめざし、21世紀の人類の平和な文化と福祉の向上へ寄与することを趣旨といたします。

真に科学的視野をもって研究し、実践する気功に関係する医療関係者、科学・技術、研究者および学生の皆様の当学会への入会を期待いたします。

今後の活動：

- ・ 統合医療学会の認定気功師の活動(セミナー・認定講義・認定基準資料の発行) <http://www.imj.or.jp/index.html>
- ・ 日本医療気功学会の学術大会・気功師認定関係の分科会議・論文の募集・審査を経て会誌の発行(日本統合医療学会誌)
- ・ 2010年6月26日(土)(気功文化祭2010 in Tokyo 伝統気功・健身気功・医療気功展示表演大会 船堀 大ホール)
- ・ 日本健身気功国際連盟: 健身気功講義段位認定 3-6月、7月健身気功日本競技大会の情報

HP: <http://www.qigong-culture.jp/>

日本統合医学会・日本医療気功学会 認定制度内規

学会の名

日本医療気功学会

(Japan Medical Qigong Association)

JAMQA

目的

第1条 この制度は、学会員の気功医学又気功文化に関する学術・施術・実技並びに資質の向上を生涯にわたって図ることを目的とする。

認定委員会

第2条 前条の目的を達成し運営を図るため、学会に認定委員会を設置する。

認定の要件

第3条 認定の要件は、一定以上の学会在籍年数と一定の学術・技術水準を

有すると認められる者とする。一定の学術・技術水準とは、学会の行う学術事業と施術経験及び生涯研修等の履修をもって定める。

審査

第四条 認定の審査は、認定委員会が申請者に対して行う。

登録

第五条 審査に合格した者は、学会に認定の登録をしなければならない。

認定証

第六条 学会会長は、学会に登録した者に対し認定証を交付する。

期限

第七条 認定の期限は3年間とする。

更新

第八条 認定の更新は3年ごとに行う。

申請者資格

第9条 日本統合医療学会会員、日本医療気功学会会員資格1年以上、日本統合医療学会また日本医療気功学会の役員、評議員、学術委員2名以上の推薦による。又、日本医療気功学会の理事会の規定による、適切と判断された方。

施行規則

第10条 この規則の施行についての細則は、別に定める。

規則の変更

第11条 この規則の変更は、理事会及び評議員会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

この規則は、2009年3月1日より施行する。

日本医療気功学会（JAMQA） 入会申込書

(Japan Medical Qigong Association)

平成 年 月 日

日本医療気功学会（JAMQA） 御中

「日本医療気功学会」の趣旨に賛同し会員への入会を申込みます。

紹介者	団体	その他

連絡先

住 所	〒 - 		
氏名	カ ナ		
	漢 字		
性別	☐ 男	☐ 女	職業
ホーム	会社		
電話番号	電話番号		
携帯電話	携帯電話		
FAX	FAX		
E-mail	E-mail		
HP	HP		

年会費

正会員 10,000円 ☐
 学会会員 10,000円 ☐
 賛助会員 20,000円 ☐
 学生会員 2,000円 ☐

入会金

正会員 10,000円 ☐
 学会会員 10,000円 ☐
 賛助会員 免除
 学生会員 免除

振込先：三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通預金 口座番号0012992
 名前：日本医療気功学会 (ニホンイリョウキコウガッカイ)